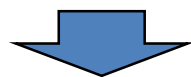


小瀬川水系流域治水プロジェクトの更新

①先般の意見照会により、小瀬川水系流域治水プロジェクトに追加となる取組内容は以下のとおり。

流域治水に関する新たな取組内容	
廿日市市	・森林の整備・保全、治山施設の整備
岩国市	・ポンプ場等の整備
和木町	・在宅要配慮者の個別避難計画 ・森林の整備・保全、治山施設の整備
広島県	・県内の高潮浸水想定区域図の作成
山口県	・県内の高潮浸水想定区域図の作成
太田川河川事務所	・民間企業におけるBCP作成支援



上記を踏まえ、流域治水プロジェクト【位置図】【ロードマップ】の見直しを行いました。

②流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】の各指標値を最新版に更新しました。

小瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～コンビナートを中心とした地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

更新箇所: 青字表示

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、小瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があります。
- 小瀬川は、河口地区に「大竹・岩国石油化学コンビナート」として瀬戸内工業地域の工業地帯を形成し、人口・資産が集積しています。また、河口地区の地盤高は洪水時の河川水位より低い地形となっており、堤防が決壊すると、甚大な被害が発生するおそれがあることを踏まえ、堤防整備や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成17年9月洪水と同規模の洪水に対し、家屋等の浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・高潮堤防整備、堤防整備、耐震対策等
- ・雨水幹線・雨水ポンプ場等の整備
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・利水ダム等(弥栄ダム、小瀬川ダム、渡ノ瀬ダム、**飯ノ山ダム**)における事前放流等の実施体制構築(関係者: 国、県、中国電力(株))
- ・砂防堰堤等の整備
- ・改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進
- ・農地等の保全 等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画の作成・運用

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・内水ハザードマップ等作成
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援
- ・民間企業におけるBCP作成支援
- ・浸水想定区域図の作成 等

■ グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ

堤防整備(太田川河川事務所)



立地適正化計画区域(大竹市)



多機関連携型タイムラインの推進(太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、岩国市、和木町)



【位置図】



山口県

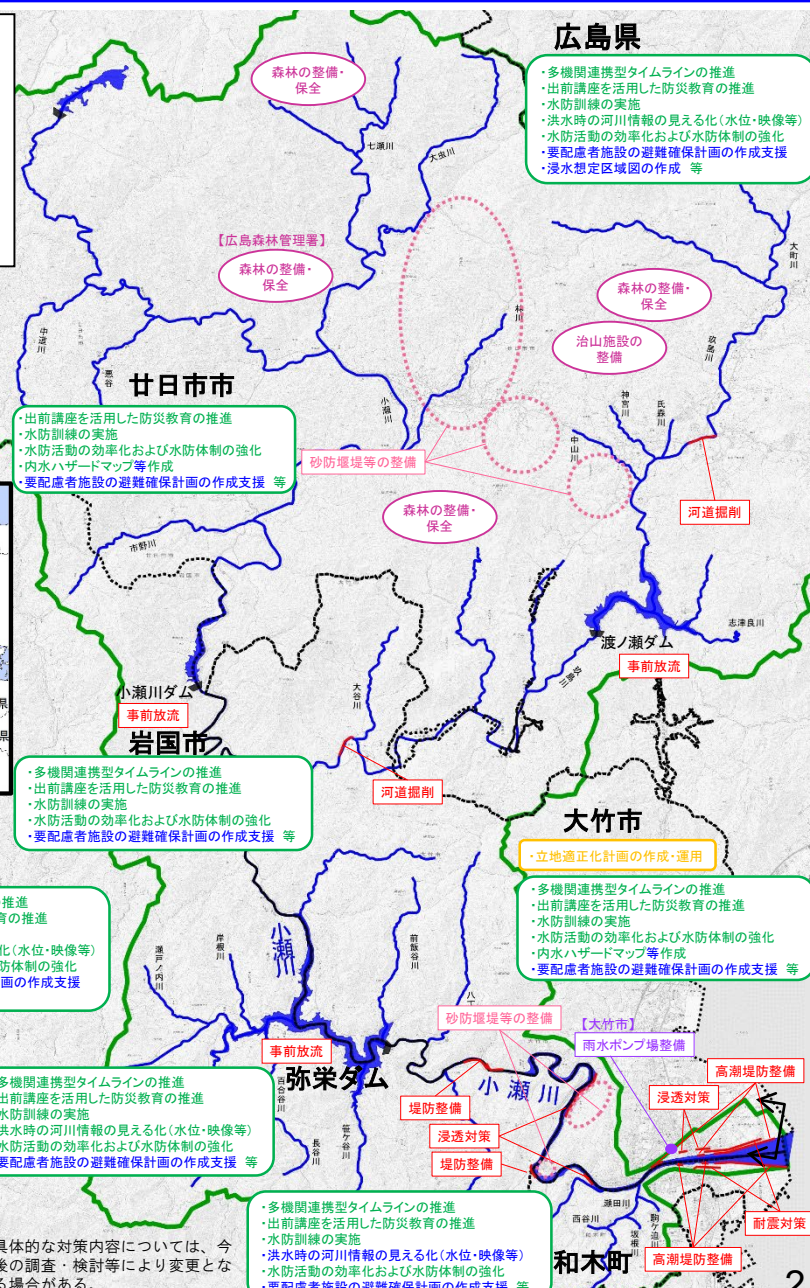
- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援
- ・浸水想定区域図の作成 等

出前講座を活用した防災教育の推進(太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、岩国市、和木町)



- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



広島県

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援
- ・浸水想定区域図の作成 等

- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・内水ハザードマップ等作成
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・内水ハザードマップ等作成
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

立地適正化計画の作成・運用

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

- ・多機関連携型タイムラインの推進
- ・出前講座を活用した防災教育の推進
- ・水防訓練の実施
- ・洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)
- ・水防活動の効率化および水防体制の強化
- ・要配慮者施設の避難確保計画の作成支援 等

小瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～コンビナートを中心とした地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『アユをはじめとする生物の多様な生息環境となる瀬・淵、礫河原の保全・再生』

○ 小瀬川は、その源を飯山に発し、蛇行を繰り返しながら流れる渓谷河川が主であり、上流から中流に掛けては両岸が山に近接した中山間地域となり豊かな自然環境が形成され、羅漢峡（らかんきょう）や弥栄峡（やさかきょう）（県指定名勝）、蛇喰磐（じゃくいいわ）（県指定天然記念物）等の景勝地を作り出しています。また、下流部では、瀬・淵や礫河原、アユの産卵場などの多様な水辺環境が形成されるなど、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。

○ 小瀬川水系では、河道整備等にあたり、草地化などにより劣化した河川環境やハビタット機能の回復を図ることを目標として、今後概ね20年間で瀬・淵や礫河原の保全・再生を図るなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。



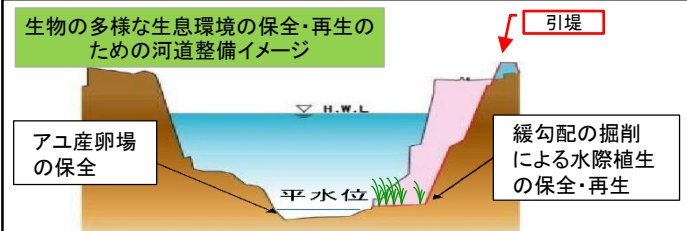
- 治水対策における多自然川づくり
 - ・瀬・淵や礫河原の保全・創出
 - ・河川景観、ハビタット機能の回復
 - ・回遊魚等生物の縦断的連続性の確保
 - ・多様な水際環境の創出
 - ・滞筋や瀬・淵の保全
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・環境学習への場の提供
 - ・弥栄ダム湖周辺環境の利活用

凡例

- 市町村界
- 流域界
- 大臣管理区間
- 既設ダム
- 河川関係
- 森林関係

凡例

- 治水メニュー
- グリーンインフラ関連メニュー



- 【全域に係る取組】
- ・生物の多様な生息環境の保全・再生・創出
 - ・回遊魚等生物の縦断的連続性確保
 - ・高潮堤防整備時の環境保全
 - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査検討等により変更となる場合がある。

小瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～コンビナートを中心とした地域の産業と暮らしを守る流域治水対策の推進～

●小瀬川では、上下流本支川の流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進します。
 【短期】浸水被害から防鹿地区・小川津地区を守る堤防整備、浸透対策を実施し、安全度の向上を図ります。また、大竹市では、立地適正化計画の作成を目指します。

【中長期】河口地区（広島県大竹市、山口県和木町）を高潮浸水被害から守る堤防整備、小瀬地区・大竹地区等を小瀬川の浸水被害から守る堤防整備等を実施し、安全度の向上を図ります。あわせて、立地適正化計画の運用、逃げ遅れゼロを目指した、多機関連携型タイムラインの推進、出前講座を活用した防災教育の推進などソフト対策を継続的に実施します。

区分	対策内容	実施主体	対策工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	広島県大竹市・山口県和木町の工業地帯を高潮浸水被害から守る堤防整備、耐震対策等	太田川河川事務所	大竹地区・和木地区	
	小瀬川の浸水被害からまちを守る堤防整備、堤防強化等	太田川河川事務所	防鹿地区・小川津地区	小瀬地区 大竹地区 瀬田地区 上木野地区
	雨水幹線・雨水ポンプ場等の整備	大竹市、岩国市	雨水幹線・雨水ポンプ場等の整備	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備センター、広島県、廿日市市、和木町、広島森林管理署	森林の整備・保全、治山施設の整備	
	利水ダム等(弥栄ダム、小瀬川ダム、渡ノ瀬ダム、飯山ダム)における事前放流等の実施、体制構築	弥栄ダム管理所、広島県、山口県、中国電力(株)、太田川河川事務所	利水ダム等(3ダム)における事前放流等の実施、体制構築	
	砂防堰堤等の整備	広島県	砂防堰堤等の整備	

被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成・運用	大竹市	作成中 (R2~R4)	運用
-----------------	---------------	-----	-------------	----

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	多機関連携型タイムラインの推進	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、岩国市、和木町	多機関連携型タイムラインの推進	
	出前講座を活用した防災教育の推進	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町	出前講座を活用した防災教育の推進	
	水防訓練の実施	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町	水防訓練の実施	
	洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、和木町	洪水時の河川情報の見える化(水位・映像等)	
	水防活動の効率化および水防体制の強化	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町	水防活動の効率化および水防体制の強化	
	内水ハザードマップ等作成	大竹市、廿日市市、和木町	内水ハザードマップ等作成	
	海拔表示物の設置	大竹市、和木町	海拔表示物の設置	
	自主防災組織・リーダーの育成	大竹市、廿日市市、岩国市、和木町	自主防災組織・リーダーの育成	
	要配慮者施設の避難確保計画の作成支援	太田川河川事務所、弥栄ダム管理所、広島県、山口県、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町	要配慮者施設の避難確保計画の作成支援	
	民間企業におけるBCP作成支援	太田川河川事務所	民間企業におけるBCP作成支援	
浸水想定区域図の作成	広島県、山口県	浸水想定区域図の作成		

グリーンインフラの取組	生物の多様な生息環境の保全・創出、魚道改善等による生物の縦断的連続性の確保	太田川河川事務所	防鹿地区・小川津地区	小瀬地区
	環境学習への場の提供 弥栄ダム湖周辺環境の利活用	太田川河川事務所、広島県、弥栄ダム管理所	環境学習への場の提供	
	多様な水際環境の創出、滞筋や瀬・淵の保全	広島県	玖島川	
	生物の多様な生息環境の保全・創出	広島県、森林整備センター	森林整備・治山対策における自然環境の保全	



■事業規模
 河川対策 約104億円
 砂防対策 約290億円
 【他流域含む広島県全体、R3~7年度】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ※令和2年度以降、実施中の事業を記載

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率:94%

(概ね5か年後)

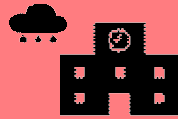
農地・農業用施設の活用



2市町村

(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



2施設

(令和3年度実施分)

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 0箇所

(令和4年度実施分)

砂防関係施設の
整備数 0箇所

(令和4年度完成分)

※施行中 1施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

(令和4年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 9河川

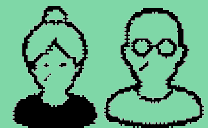
(令和4年9月末時点)

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 1団体

(令和4年9月末時点)

高齢者等避難の実
効性の確保



避難確保
計画 洪水 164施設
土砂 148施設

(令和4年9月末時点)

個別避難計画 3市町村

(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〇砂防堰堤等の整備による土砂流出対策(広島県)

激甚化が懸念される土砂災害から県民の命と暮らしを守るため、住宅密集地や災害時に重要な役割を担う防災拠点、インフラ・ライフラインの保全など効果的な事前防災対策を推進します。



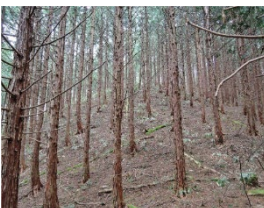
谷郷川(大竹市)



清末地区(廿日市市)

〇森林整備事業(造林事業)(広島県)

- 林業経営体や森林所有者等が行う森林整備に対する補助
- 事業主体:市町、林業経営体、森林所有者など
- 実施内容:植栽、下刈り、保育間伐、(搬出)間伐など



適切な手入れ(間伐)
実施前の人工林



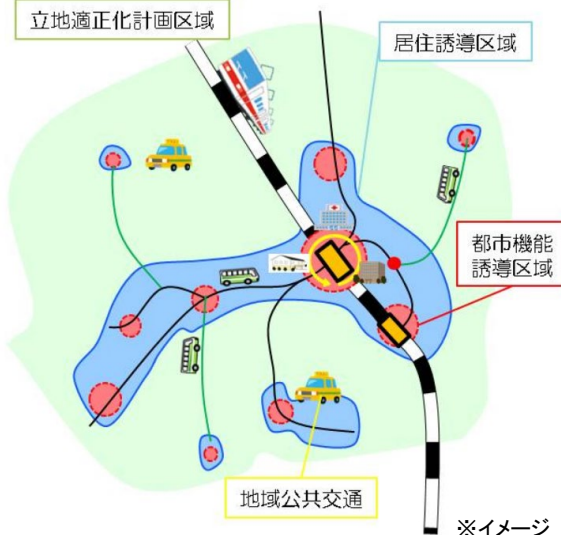
間伐が実施された人工林

被害対象を減少させるための対策

〇立地適正化計画の作成(大竹市)

急激な人口減少や少子高齢化が進行する現代社会において、生活の利便性や活動の機能性が確保された都市を維持するためには、居住を支える都市機能(医療・福祉・商業等)を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通沿線等に居住を誘導して一定の人口密度を維持する都市構造のコンパクト化が重要となります。

大竹市において、居住および都市機能の立地の適正化を図り、持続可能で安全・安心な都市の形成をめざすため、令和2年度より大竹市立地適正化計画の策定を進めております。



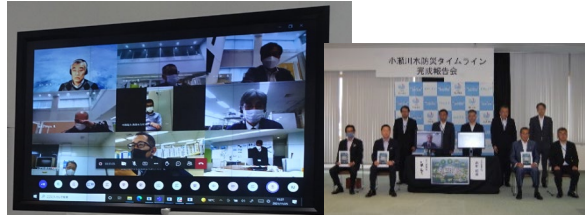
※イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

〇多機関連携型タイムラインの推進

(国土交通省、広島県、山口県、大竹市、岩国市、和木町)

洪水、高潮、土砂災害のハザード別のステージ毎に関係機関がとるべき項目がわかるようタイムラインを作成しました。令和元年度から試行運用を実施し、毎年、出水後に運用実績に基づき振り返り、課題があれば改善を行っています。



〇水防活動の効率化及び水防体制の強化

((国土交通省、弥栄ダム管理所、山口県、大竹市、廿日市市、岩国市、和木町)

毎年、出水期前に職員、地域住民(自主防災組織等)等を対象とした水防訓練を実施しています。



令和元年度の事例(山口県、岩国市、和木町)